



あたたかい医療をみんなの手で

Human

“きみつだより”

'90 文化祭特集号

NO.4 平成2年12月26日発行

発行責任者 茅野 嗣雄

編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-11 君津市東坂田4-7-20 PHONE 0439-52-2366(代)



第二回病院文化祭開催

―地域医療の実践をめざして―

あたたかい医療をみんなの手で十一月十八日、玄々堂君津病院第二回病院文化祭が昨年引き続き、華々しく開催された。開会式では、今年の新企画として注目されていた職員・職員家族による手作り文化祭ホスターの入選者の表彰が行われ、透析室勤務の

中田いとさんの家族が表彰状と副賞の自転車を手にした。引き続き、ホテル千成にて、院内研究発表会が行われた。六題にのぼる発表は、院内に

関する身近な問題を取り上げ、他部署に対してその現状を知ってもらおうというきわめてユニークな職種別発表会であ

り、昨年にもまして活発な論議が展開された。午後は、東京大学医学部付属病院輸血部教授十字猛夫先生による「輸血療法の新しい展開」と題する特別講演が行

われた。非常に高度な内容でありながら身近な問題と感じられた講演は、輸血される側から医療従事者に至るまで、

多くの職員が会場を埋めて十字先生の講演に聞き入った。一方、展示フロアでは、血圧測定や検尿・貧血検査、肥満を防ぐ食事のポイント、食物繊維の紹介等、健康チェックのための展示や相談コーナーが設けられたり、当院の看

武部先生 診療部長に就任

九月四日より、武部副郎医師が、当院診療部長として就任した。先生は、昭和四十七年、東京大学を卒業され、東大病院第一外科に入局、五十年から

院内看護研究発表会行われる

十月十一日、第三回院内看護研究発表会が開催された。三回目の今回は、八題の発表が行われた。

今年の演題の特徴は、アンケートによる調査報告が多く、活発な質疑応答がなされ、昨年同様の盛り上がりを見せた。優秀賞には、クラーク部門の「よりよい接遇について―

血糖伝票と予約券の一体化及び入院案内パンフレットについて」が選ばれ、待ち時間の短縮につながる工夫や、わかりやすいパンフレットの作成が評

屋内消火栓操作法大会行われる

君津市消防署主催による恒例の屋内消火栓操作法大会が、十月二十三日、内箕輪運動公園にて行われた。参加事業所

は、十九団体総員五十七名で日頃の訓練の成果を競った。昨年度より審査基準が厳し

い中で、当院男子チーム(野中・吉田・濱田)は八位(努力賞)と健闘し、女子チーム(込宮・萩原・永塚)も、多忙の中、十七位と頑張った。尚最優秀賞は、新日鉄化学女子チームが獲得した。

帰りたいのに、帰れない。

ネクタイ、締めたい。

CHUGAI 中外製薬

なにかとお忙しいサラリーマン、OLのみなさんへ。ままたらぬは、世の習い...とはいうものの、毎日毎日「帰りたいのに、帰れない」では、あんまりです。体だって、悲鳴をあげます。早めにグロンサンを。どうせやるなら、仕事も笑顔でスイスイとね。

滋養強壮、肉体疲労時の栄養補給に

グロンサン 強力内服液

中・吉田・濱田)は八位(努力賞)と健闘し、女子チーム(込宮・萩原・永塚)も、多忙の中、十七位と頑張った。尚最優秀賞は、新日鉄化学女子チームが獲得した。

相談コーナー

昨年文化祭に訪れた地域の方々に好評だった展示と相談コーナーが、今年も院内の1階フロアーに設けられた。今回は2度目ということで、前回の経験が生かされ、その内容はどの部署もより充実したものになった。

病院とはその名の通り、病気にかかった人が来る所である。しかし、病院文化祭という場へ健康な人が来て、各展示を通し日頃の健康管理を見直し今後の参考になるものを得られたなら、それだけでも文化祭を開催した意義は大きいと言える。

パネルを見て、看護婦や栄養士と話をし、X線フィルムや成人用オムツに触れてみて、皆どんなことを感じたのだろうか。

直接関わったスタッフに、現場での手ごたえや感想を聞いてみたい。

文化祭を顧みて 文化祭実行委員長・杉村 昭文

文化祭は今年で二回目を迎えたわけですが、八月に実行委員会が発足し、実行委員長を仰せつかりました。昨年は、野村実行委員長はじめ各実行委員の入念な準備で大盛況でした。

委員会では、昨年のテーマ以上のものは無いという結論から、今年も引き続き「あたたかい医療をみんなの手で」としました。

特別講演は東大輸血部教授 十字猛夫先生に「輸血療法の新しい展開」というタイトルでお願いしました。今年も、一般患者さんより医療関係者向きのタイトルで、昨年と違い、ドクター始め他の医療関係者が多数来場くださり、二百の席がほぼ満席という盛況ぶりでした。

文化祭を通して、地域医療を指し、地域の人々に少しでも玄々堂君津病院を理解してもらおうこと、見に来て下さったお客様に楽しく過ごして帰っていただくこと、また職員間で他部署との連携を密にし、理解を深めることが出来ればと考えます。



杉村 昭文

あなたは健康ですか... 今一度チェックしてみましょう

外来看護部門

外来看護部門では、「あなたは健康ですか。今一度チェックしてみよう」というテーマで準備を進めました。

今年も、乳癌の自己診断のパンフレットと、飲酒や喫煙に対する注意信号を示したパンフレットを作成し、御来場下さった皆さんに配布しました。是非、活用して頂きたいと思っております。

近年、増加している癌に対して関心は高い様子で、「私は大丈夫かしら？」等の声が聞かれました。年に一度は、健康診断を受け、健康を維持出来る様に心掛けて頂きたいと思っております。

家庭での救急処置をお教えます

病棟看護部門



患者さんが救急車で運ばれて来た時、自宅で少しでも応急手当ができていればと思う時があります。ICUでは、緊急でも自宅で最低限の対応ができる様に「家庭の必需品」として、小さなパンフレットを作成しました。

「吐血をした時は、どうしたらいいでしょう」という身近な相談から「一人で倒れて誰もしないから...」という

カルシウム... あなたの必要量をお答えします

透析看護部門



難しい相談までありました。人工呼吸法等、素人には、無理という声もありましたが、いざという時のために参考にしてみてくださいと幸いです。

透析看護部門では、あなたの一日に必要なカルシウム量をお答えします」というキャッチフレーズで、コンピュータによる各個人の、一日に必要なカルシウム量の算出を行った他、カルシウム百ミリグラムを含む食品の展示を行った。

ししゃもや田作り、牛乳等の食品は、カルシウム含有量が多いのは一般的だが、レモンや菓子類にも含まれていることは、あまり知られておらず、興味を示してくれた様だ。又、近年問題視されている骨粗鬆症とも関連させ、説明を加えたので、熱心に聞いてもらえ、良かったと思う。

血液透析の原理・構造の説明と実演

臨床工学技士部門

血液透析の一般社会における認知を目的として、人工腎臓装置の展示と実演を行いました。見学者の中にはダイアライザーを見て、これで血がきれい

“模擬店”



こうやって手ばやくするのがコツよ、わかったか？

肥満を防ぐ食事のポイント

栄養科部門



になるのかと、げんそうな顔をしてる人もおりましたが、いざ実演の段では血液から水が絞りとりられたり、色素がにじみでくる様を見て、現代科学のすばらしさに感心しておりました。またこの療法を生産にわたり、一日おきに四時間反復しなければ腎不全患者さんは生きられないこと、一人当りの年間医療費が五百〜六百万円になることなどの説明には、皆様に大変な療法であること痛感したようでした。

運動消費エネルギー

ルームランナーを使って、実際に走っていただき、カロリカウンターによるエネルギー消費量測定を行いました。十七名もの参加があり、皆さん消費量の少なさに驚かれました。

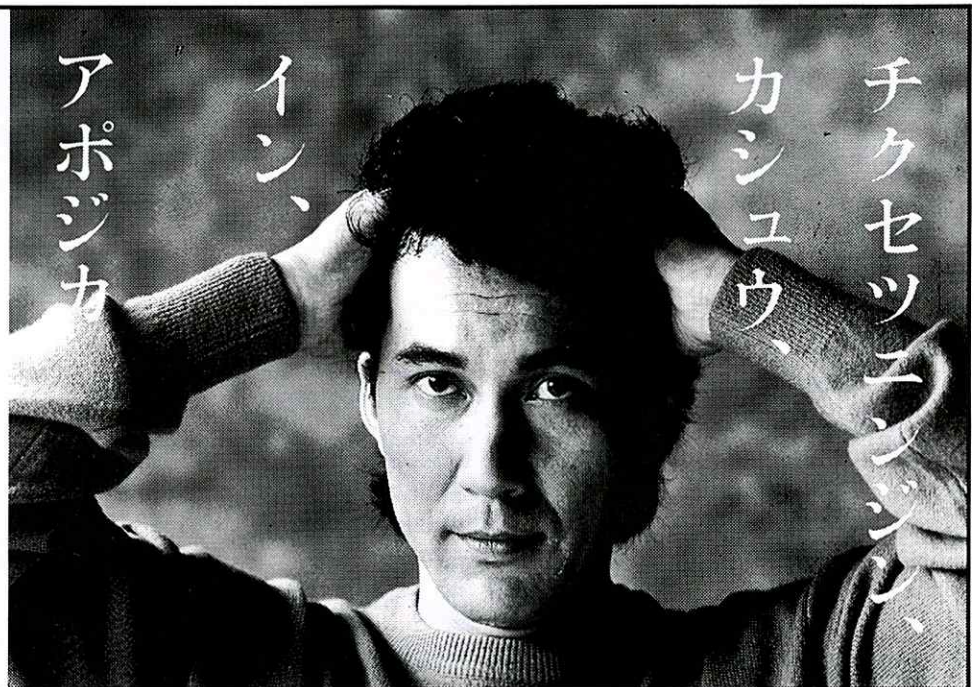
第一製薬

育毛生薬チクセツニンジン、カシュ新配合。医薬品の新しい実力、「アホジカ」誕生。

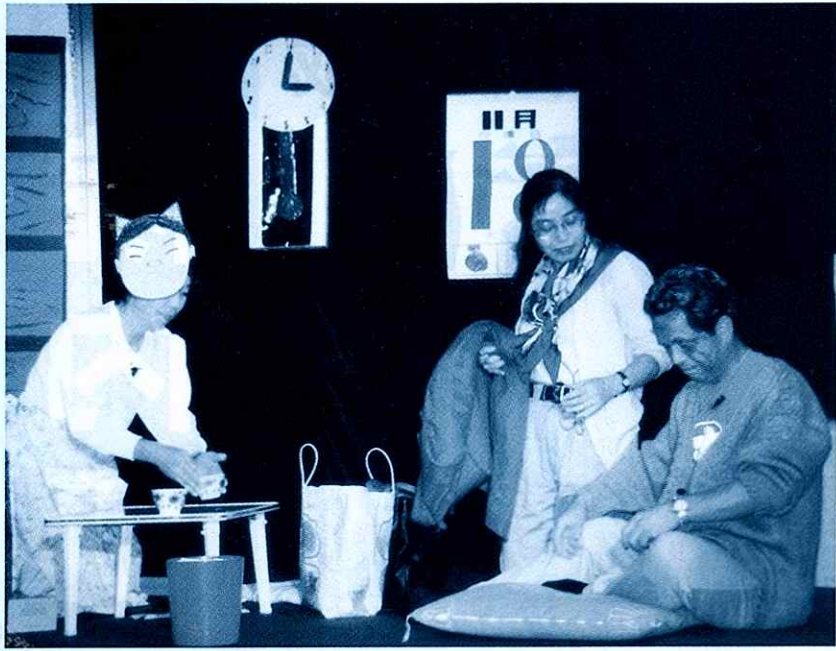
生薬の力を科学した新育毛医薬品●新発売

Karoyan アホジカ APOGEECA

アホジカとは「天候が極端な静岡の最頂点を意味する Apogee」と「生薬配合」を意味する(Add Drug Added)の合称から生まれたネーミングです。効果・効果/発毛促進/発毛(抜毛)の予防、薄毛、脱色・産後の脱毛、抜けかゆみ、円形脱毛症、乾癬性脱毛症、若禿(中年性脱毛症)、びまん性脱毛症



大好評の展示。



検査科では、前年度の文化祭と同様に、検査機器の一般公開をしました。又、「健康診断をしてみませんか」と名をうち、血圧測定・貧血検査・尿検査を行いました。

一時間という限りのある時間でしたが、今回四十人余りの方々がこの検査を受けられ、昨年よりも活気のあるものになりました。

健康チェックに少しでも役立つ事ができたことで、検査科としては、今回の企画は、成功と言えるものでした。

健康診断してみませんか(検尿・貧血・血圧)

検査科部門

皆さんのご来場ありがとうございました。

今年は、物忘れのひどくなった「玄じいさん」をとり巻く山口家の様子を、介護のアドバイザーを加えて、演じてみました。

長男の嫁で「玄じいさん」の面倒をみているよし子さんが、介護の合間に、ポロッと出す本音には、会場がわき立ち、思わずうなづいていて光景もみられました。

我ら山口劇団、人選には自信しております。個性豊かなメンバーでまとめてみました。いかがでしたでしょうか？この劇が、少しでも皆様のお役に立てれば、光栄です。

介護劇

X線フィルムの展示



放射線部門

「あなたは健康診断を受けていますか」と題し、胸部X線写真に徹底して拘ってみました。

最近、胸部疾患の患者が比較的多く、その中でも悪性の症例が高い確率で発見されています。この様な事は、当院に限らず全国的な事として、今注目されています。

肺癌・肺結核・肺炎・気胸の症例を、正面像・CT像・断層像で捕らえ、正常な胸部写真と比較して展示してみました。

相談コーナー

手術後

手術後の相談コーナーということで、訪れた方は少数でしたが、皆さん順調に日常生活を送られている様であり、元気な姿を見せに来てくれたという感じでした。

相談らしいものは特にありませんでしたが、手術後、食欲が出てきたり、少し太ったという話を聞き、経過が良好で安心しました。

私達にとって、元気になられた患者さんに会えることが何より嬉しく、これからの仕事の励みになります。

薬

このコーナーは、午後3時～4時という時間帯ということもあって、相談にいらした方は5・6人でした。そんな中で、薬の相互作用に関する質問が多数見受けられました。また、血中の電解質であるカリウムが上昇した時に処方される「カリメート」という薬が服用しにくいということから、カリウムは、体内でどのような役割を果たしているのかという質問が出るなど、自分の疾患を根本から理解していこうとする姿勢がうかがえました。

栄養

栄養相談コーナーでは、日頃の食生活の悩みについて相談を受けました。肥満・高血圧症・お年寄りの食事等について、7名の方が相談に見えました。現在の食状況を聞き、アドバイスをを行い、フードモデルを利用し一日に摂取すべき食品の分量を説明しました。

エネルギーや塩分を摂り過ぎていて、朝食をしない人、野菜を摂らない人、外食の多い人など、みなさん頭では解っているのですが……。



ストレッチ体操～こころとからだのリラクセス

示した。米場者にとってこの展示は、かなり説得力があったようです。特に癌については関心が集まり、質問も多くありました。

今回は、癌を中心とした消化器系疾患に拘ってみたいと思います。

あなたも「禁煙」に心掛け、必ず「健康診断」を受けましょう。

介護用品の紹介及び食物繊維の紹介

薬局・ノバファーマシー部門

今年の介護用品コーナーでは、種々のベッド類や車椅子を中心に、日頃展示できない大型の物を揃えてみました。

どんどん便利になっていく介護用品の進歩に感心されている方が大勢おりました。しかし、日夜介護に携わっている方は、おむつ類などの日用品を手にとり、その使用性や簡便さを熱心に検討しており、改めて利用する側の真剣さが伺えました。

健康食品コーナーでは、食物繊維を含む食品を試飲食していただきました。中でも手作りゼリーは、家庭でも手軽に食物繊維を摂取できる方法として、好評でした。

当院の救急患者の受け入れ状況

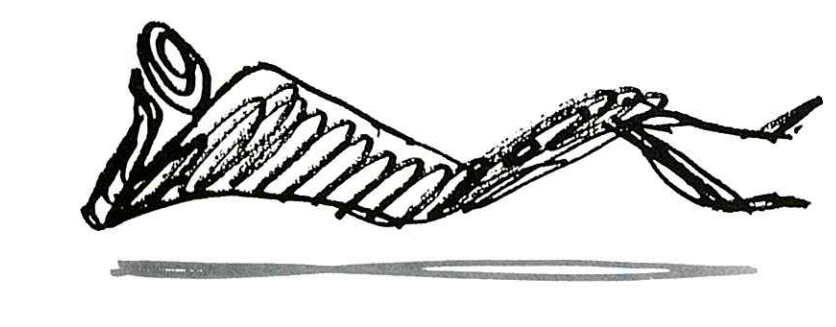
事務部門

事務部門では、当院が救急指定病院になったことを機会に、救急車の受け入れ状況をいくつかの項目に分類し、まとめてみました。

君津市だけでなく、木更津市・富津市など近隣地域からの受け入れも多いため、夜間帯の受け入れが断然多いものと予想したことに反し、昼間との差がほとんど無かったことなどに対し、関心を示してくれた方も、何人かいた様です。

パネルという形で行った為、多少アピール不足だったかもしれませんが、当院の地域での役割の一端を御紹介することが出来て、良かったと思います。

幸せの決め手は、健康です。



幸せで充実した人生とは、どんな人生でしょう。それは、何よりも健康であることではないでしょうか。ゆったりと、そして生き生きと暮らすために、健康を大切にしたいと思いませんか。私たちの使命は、創業から半世紀以上を経た今も、そしてこれからも変わることはありません。それはより健康で、より幸福な社会の実現に貢献していくこと。すなわち、すぐれた研究開発力で数々の医薬品、試薬をはじめ各種ビタミン、農薬まで常に信頼される製品を創り出すこと。これからの健康を通して明日を化学する。一日本ロシュです。



日本ロシュ株式会社

自然の皮脂を守る やさしい石鹸。

潤いを保ち、つっぱり感のない、お肌にやさしい石鹸です。色素、香料は含みません。



お肌に合わせて選べる石鹸

コラージュ石鹸

コラージュM石鹸 コラージュA 弱性肌用石鹸 コラージュD 乾性肌用石鹸 各100g/750円(税抜き) 化粧品 ※使用上の注意をよく読んでお使いください。



会場のホテル千成 満席に

文化祭 院内研究発表会

開会式に続いて、ホテル千成で行われた院内研究発表会は、各部署から様々なテーマが取り上げられ、学術的な論文報告からビデオセッションまでとユニークな発表形態となった。職員が他部署の仕事や活躍ぶりを知る、良い機会になったといえそう。

今年の発表は、一群・二群・三群各二題ずつ、計六題にのぼり、講師を副院長、重松先生が行った。又、各群の座長を、池沢、小畑、岩松の各氏が担当した。

今年は、多くの職員が聞けるように会場をホテル千成に移したが、それでも満席となる盛況ぶりであった。発表は、持ち時間一人十分で、スライドを用いたり、ビデオセッションがあったり、院内研究発表会でありながら、本格的な学会のスタイルで行われた。



演題は様々なテーマが取り上げられていたが、特に、在宅療養をとりあげたICUと訪問看護部の研究発表に、関心が寄せられ、活発な意見交換や、質疑応答がなされた。高齢化社会を迎えている現在、これからの在宅療養は、家族や医療従事者のみならず、社会全体で考えなければならぬという大きな問題を投げかけてくれた。と同時に、病院の果たす「社会的役割」を考えさせられる結果となった。

他に、当院職員の食習慣調査という発表が栄養科から出され、身近な問題だけに、皆熱心に聞き入っていた。中には職員給食のメニューに対する希望も出るなど、その関心度は高く、会場は大いに盛り上がった。午前中では足りない程の熱心な議論が交わされ、大盛況のうちにも幕を閉じた。

高、発表者一人一人に高田院長より記念品が贈呈され、その努力と成果がたたえられた。

当院透析患者へのエリスロポエチンの投与効果



(薬局)高松裕子

エリスロポエチン(以下EPO)は、腎臓で産生され、赤血球への分化・増殖を促進するホルモンである。腎性貧血に対してEPOの投与が高い効果をあげていると報告されており、本年四月より保険適応となった。そこで我々は、当院透析患者におけるEPO投与の実際と投与効果について、調査し報告した。その結

訪問看護対象者に計画的な短期入院を試みて



(訪問看護部)竹内智子

在宅ケアの主な担い手は四十～六十代の主婦であり、余暇とは縁のないところで愛と忍耐の介護を続けている。ある時、法事のために老人ホームのショートステイを利用して旅行してきた主婦が、すっかりリフレッシュされた姿を見て、私達訪問看護者はショートステイの重要性を再認識した。

在宅療養可能な状態で長期入院となつてゐる患者の退院への援助



(ICU)原田広子

高齢化社会に伴い入院患者の中で老人の占める割合は高まり、その退院をめぐる多くの問題が生じてきている。今回の研究では、家族の受入れが困難な老人患者の、退院に向けての援助のあり方を、過去に経験した事例を通し考察した。

当院職員における食習慣状況



(栄養科)山口晴美

当院職員百二十名を対象に食習慣の実態調査を、アンケートにより実施した。結果は、四十代以上の人が最も食生活に注意を払っているように思われた。全体に三十代が悪くなっているが、これは、仕事・家事・育児に多忙なためではないかと推測される。又、二十代は外食やお酒を飲む機会が多いようだ。

放射線障害について



(放射線科)浦部 勉

放射線障害について、院内で使用している診断用X線を中心に検討、報告した。放射線による障害は、人体の感受性の違いや、遺伝的なものがあり、前者は臓器の障害・機能低下・癌、後者は発育不全・奇形などと考えられている。人為的に放射線障害を作り出すためには、人体に対して

胆石症の入院から退院まで



(医局)加藤正久

医局からの文化祭出品作品は、昨年、各分野からの絶賛を浴びたビデオセッションに続き、待望の第二弾、「胆石の入院から退院まで」を医局スタッフ総出演でお贈りいたしました。

地域社会に望まれる 病院をめざして

救急患者受け入れ状況

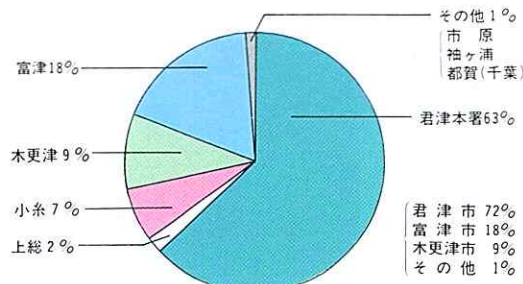
平成元年1月1日
～12月31日

[文化祭事務部門展示より]

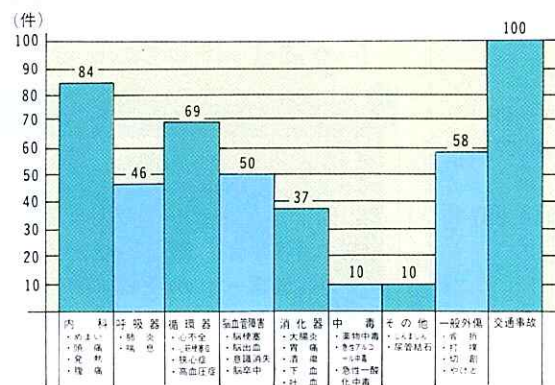
①受け入れ総件数

昼間帯 (AM6:00～PM6:00) 239件
夜間帯 (PM6:00～AM6:00) 225件

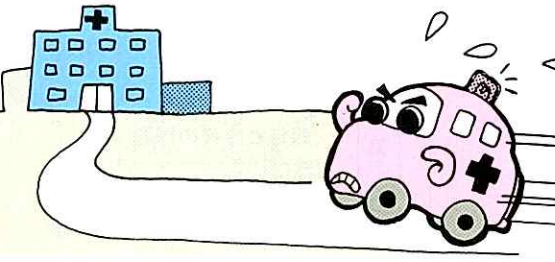
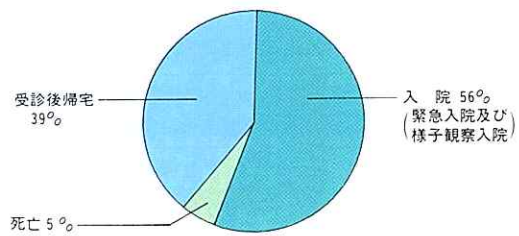
②受け入れ先消防署



③病名別分類



④救急受診後の状況



高齢化社会が訪れ、誰もが介護を必要とし、必要とされる中で、患者さんや高齢者、その家族の人達が、気軽に病気でつきあっているように、また、気軽に医療を利用していきなす。そして、サービスとしての医療を向上させたいと思つていきます。地域住民の皆様に対して、玄々堂君津病院をもつともっと理解してもらい、その活動を知っていただきたいと思つています。

第二回を迎えた今回の病院文化祭から、事務部門の展示をもとに、当院を御紹介しましょう。

病院概要
 名称/特定医療法人社団 君津会
 新都市医療研究会 君津会
 玄々堂君津病院
 所在地/〒299-111 千葉県君津市東坂田4-7-20
 TEL 0439 (52) 2366
 院長/高田真行
 副院長/茅野嗣雄
 病床数/128床、透析58床

診療科目
 ●一般診療科
 内科:胃腸科、循環器科、呼吸器科
 外科
 ●婦人科
 ●整形外科
 ●放射線科
 ●専門外来
 アレルギー・リウマチ科(東大物療内科)
 大腸肛門科(東大第一外科)
 糖尿病・内分泌科(虎ノ門病院)
 泌尿器科(東京女子医科大学腎センター)
 ●人工透析センター
 ●人間ドック
 ●理学療法科

あゆみ
 ●S47.2.11 君津市坂田1608番地に玄々堂坂田診療所開設(院長 茅野嗣雄)
 ●S49.4.21 君津市東坂田4-7-20に玄々堂君津病院開設(院長 池田貞雄)
 ●S49.12 医療法人認可
 ●S56.11 増改築工事 72床、透析36床
 ●S58.4 特定医療法人認可
 ●S60.9 増改築工事 128床、透析36床
 ●S63.10 基準看護特II類認可
 ●H1.9 保育所新築移転
 ●H1.12 基準看護特III類認可
 ●H2.5 寄宿舎新築
 ●H2.8 救急指定病院告示
 増改築工事 透析58床

輸血療法の発達には麻酔学とともに近代外科の発展に多大の貢献をし、また白血病などの内科血液疾患の治療にも大きな進歩をもたらした。他方、種々の輸血副作用の問題も出てきている。その対策として、例えば感染症の伝播防止に、日赤では供血者の血液検査で、B型肝炎の他、C型肝炎、後天性免疫不全症(AIDS)等の感染の有無を調べている。その他、繰り返し輸血を要する白血病患者等では、血小板に対する抗体(その多くはヒト白血球型抗原(HLA))に対する抗体が産生され、しばしば血小板輸血の効果が得難くなる。その場合、予めHLAの型を検査・登録した供血予定者より適合者を選び、

特別講演

輸血療法の新しい展開

東京大学医学部付属病院 輸血部教授 十字 猛夫 先生



血小板採血する制度が運用され、登録者総数は10万人に達している。近々、この制度を一步進めた、いわゆる骨髄バンク制度が欧米にならない、我が国でも発足予定である。

最近輸血領域で注目されているのは、免疫抑制状態に陥っている例における輸血後移植片対宿主病(GVHD)の報告である。一度発症すると有効な治療法がなく、年間1000名以上が死亡している。社会的に問題を集めるAIDSによる死亡が、我が国では先進国中で極めて少ないのと対照的である。さて、近年の輸血の基本的な方法は、血液を遠心分離し、各成分を各々必要な方に輸血する成分輸血である。例えば、失血の内容が血液全成分(全血)にわたる際も、全血輸血より、第一に補充すべき赤血球のみを先ず輸血することが合理的である。勿論、患者の状態が保ち得れば、無輸血が良い。又、待機手術に必要な血液を、予め患者自身から採血し、手術時に用いる自己血輸血も、エリスロポエチンの併用等により、広く活用すべき方法である。

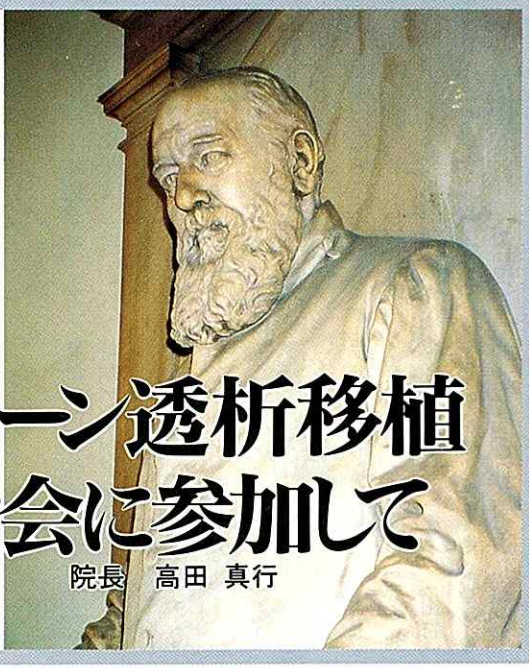
玄々堂の由来

玄々堂の医師は、豊臣秀吉・秀頼の御典医であった森宗長の第二子森玄孝より伝えられたものである。森玄孝は、文禄慶長の役に、小西行長の軍に従い、大陸に渡り、明に入り、医术を修め、帰国後、キリスト教徒の嫌疑を受け、官命により南総小糸郷に蟄居を命ぜられ、鈴木家に於て、庇護を受け、鈴木家と称し、老道徳経に玄とは絶対者の意味であり、玄の又玄は、道の広大無辺なる様を言い表している。これが「玄々堂」の由来といわれている。「君津市文化協会郷土研究誌「ゆ々」鈴木二郎氏記事より)鈴木家は代々医を業とし、

近村遠郷に施療していた。数代医業が途絶えた時代もあつたが、三十一代鈴木利三郎が済生学舎に学び、玄々堂の医療を再興した。当院婦人科部長鈴木達也先生が三十二代にあたる。当院は昭和四十七年二月玄々堂坂田診療所として開設、昭和四十九年四月玄々堂君津病院となった。玄々堂君津病院の母体は東大新都市医療研究会であり、その趣旨に賛同した鈴木達也先生より、「地域に親しまれた玄々堂の名を冠しては」との薦めがあり、「玄々堂坂田診療所」「玄々堂君津病院」の名称を使用し、昭和五十八年より特定医療法人社団が認可され現在の準公的な形態となった。

ウィーン透析移植学会に参加して

院長 高田 真行



今回透析移植学会の開かれたウィーンの街は、御存知のようにヨーロッパの古都であり、又音楽の都としても有名で、街角では楽聖モーツァルトやヨハン・シュトラスの像が、この街の華麗な歴史を物語っています。この街の魅力にとりつかれて、うっかり学会に出席するために来たのだということを忘れてしまつた。さて本題に入りましょう。学会の演題で私に関心があったのは、透析患者に於けるHCV感染の実態に関するもので、日本を含め施設からの報告が、いずれもかなり高い感染率を示していました。当院でも今後重要なテーマとなるでしょう。ところで、この街にはウィーン大学という近代医学の発展と共に歩んで来た由緒ある大学があり、この回廊には、かつてこの大学が輩出した有名な医学者の彫像が星の如く並んでいます。私には非この機会にその偉容に接したいと思つていました。ピルロート先生(近代外科学の祖)の像はひととき大きく、その風貌は、正面から仰ぎ見るとあたりを圧する威厳に満ち、近寄つて見ると、その横顔には静けさと優しさが漂っていました。メスを持った哲学者とも言つたらいいのでしょうか。彼ピルロートは抗生物質のなかつた十九世紀末に世界で初めて胃切除術を行ったのですが、これはさしずめ、今の時代に於ける肝移植にも相当する術をも怖れぬ医療行為であった筈です。にも拘らず、彼の果敢な治療が時代に受け入れられたのは、彼の高度な技術もさることながら、彼の行為が常に確固とした哲学によつて裏打ちされていたからではないでしょうか。ひるがえって、現在の日本の医療に目を移す時、例えば、肝移植に挑戦している医師達には、確固とした哲学があるのでしょうか。又、先程審議を再開した老人保険審議会には哲学があるのでしょうか。

君津病院大運動会



「それ行けチビッコアンパンマン!!」



「自慢のパワーと根性がものをいうぞ」

十月十四日、富津公園にて恒例の院内大運動会が開かれた。今年は、偶数と奇数の誕生月で紅白二チームに分かれて競技した。

競技内容は、ジャンボサッカー・UFOリレー・障害物競争等、午前午後四種目ずつで、団体競技が多く、特に午前最後の綱引きは、両チーム共に熱が入った。

競技はハイペースで進み、紅白対抗リレーでクライマックスを迎えた。抜きつ抜かれつカーブで転倒、順位は目まぐるしく入れ替わり、白組がテープを切った。そして、総合優勝も白組が手にした。

合優勝も白組が手にした。秋晴れの下、爽やかな汗をかき日頃の運動不足の解消と前最後の綱引きは、両チーム

「HUMAN」新編集長に 岩松氏決定!!

平成三年の「HUMAN」の新編集長に検査科の岩松勝實さんが決定した。十二月三十一日付で平成二年の編集委員の任期が終了する為、編集委員他、各部署より多くの推薦があり、岩松さんに決まった。就任にあたり、岩松さんは「職員皆様の御協力により、皆様に親しまれるような新聞を目指して頑張りたいと思う。」と抱負を述べている。

尚、新スタッフは、年明けに決定の予定である。

入退職・結婚・出産

※入職者※

- 大塚 愛子(栄養科・調理助手)(8.13)
 - 藤原まつ子(外来・看護婦)(8.27)
 - 武部 嗣郎(医師)(9.4)
 - 大塚 妙子(4F・看護婦)(10.29)
 - 杉山しのぶ(保母)(11.19)
- ～活躍を期待します～

※退職者※

- 森長 千里(ICU・クラーク)(8.31)
 - 大庭美代子(栄養科・調理師)(8.31)
 - 角田 恭子(保母)(10.31)
 - 志波 靖子(3F・看護婦)(11.30)
- ～お疲れ様でした～

※結婚※

- 板倉 裕子(ICU)(10.6)
(旧姓 羽山)
 - 竹澤 達司(総務)(10.10)
- ～おめでとうございます～

※出産※

- 杉谷恵美子(3F)(9.19)
長男 優ちゃん
 - 白井やよい(HD)(11.15)
次男 翔悟ちゃん
 - 花澤 久代(4F)(11.28)
長男 昌志ちゃん
- ～おめでとうございます～

学会発表分

学会名	テーマ	発表者	共同研究者
第21回 日本看護学会 —老人看護— 北海道 10月18日、19日	デイルーム利用により寝たきり患者の生活意欲の向上をはかる ～食生活の場を病室からデイルームに変えて～	石井ルミ	開 貴子 重松美代子 佐久間幸子 大神ヨシ子
第29回 腎不全看護研究会 東京 11月30日、12月1日	透析医療に携わる看護婦のストレスについて	林 美恵子	佐藤しのぶ 小畑ヒロ子 大神ヨシ子

院内看護研究発表分

	演題名	部署	発表者
第 一 群	ICUナースのストレス	ICU	在原明美
	当院における総合案内の現状	外来	伊藤かづ
	よりよい接遇について	クラーク	明しゆう佳子
第 二 群	長期療養生活を送る脳梗塞後遺症患者の退院への援助	3F	能登信子
	4Fにおける転ベッドの現状報告と今後の課題	4F	工藤奈保子
	術前訪問を試みて	中材	鈴川いよ子
	穿刺前後の処置方法の改善	HD	佐藤てる子
	デイルーム利用により寝たきり老人患者の生活意欲の向上	ICU	石井ルミ

Dr.武部抱負を語る



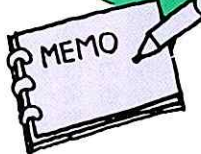
十年以上のお付き合いですが、自己紹介を兼ね御挨拶申し上げます。私は昭和四十七年東大を卒業、第一外科入局、上部消化管グループに属し、いくつかの病院に外勤をしましたが、本年医局を退局し当院の常勤となりました。小六・小二の一女一男の父で、東京の亀戸に住んでいます。私はこの病院で地域医療の重要さと患者さんを大切にす

る心を教えていただきました。ごく普通の訴えでも、丁寧な診察治療により隠れた疾患を

見出だし、最新の高度な医療を的確に提供したいと思っています。同時に、病気の予防や早期発見でどれだけ大きな苦痛が救われるかは明らかで、診断技術の向上、検査やドックの拡充、住民への啓蒙などが必要です。また、在宅療養の普及と充実に対する援助も課題です。これらの理想と結びついた現実の間で悩むつ、君津病院は前進し続けなければなりません。私はその一助になればと思っています。どうぞよろしく。

BACK STAGE

編集後記



一年間の任期を間近に控え、やっと息つく瞬間を迎えています。慣れない原稿書きにはじまり、切実な原稿の連日の忙しさを、大変でしたが、素晴らしいメンバーに恵まれ、有意義な活動が出来ました。

来年度は、岩松新編集長の下、新メンバーで活躍されることを期待しています。

▼日常、何気なく当たり前に使われるようになってきた電子レンジ。実は、電磁波を使った実験中なのである。なんて考えると、とても気分はgood。そんな発想で産休中を乗り越えたいと思っています。(住沢)

▼辛かったこと、悲しかったこと、(住沢)

▼一年間、御協力ありがとうございました。(山口)

▼世にいう新婚ホヤホヤって時期ですが、そんな気分を味わう暇がありません。正月くらい二人でのんびりしてもいいですか？ 編集長！ (板倉)

▼夢をいろいろ見ます。新しい体験をすると、それは以前に夢の中であられた出来事でした。今回の新聞も「夢」の中で発行しました。(山口)

▼一年間、御協力ありがとうございました。(住沢)



人間模様

茅野 清嗣

「株は怖いもの」という素人の株式観念が、イラクのクエート侵攻後急激に現実のものとなりつつある。好況・金余り・低金利の経済情勢に支えられて、多くの企業や国民が財テクに奔走したのは記憶に新しいことだ。絶えず変化していく政治・経済・金融・世界情勢と、それに敏感に反応し変動する株式市場、そしてそれを取り巻く人々の一喜一憂の様子を見ていると、「富」に対する人間の貪欲な一面を痛感する。

こと、沢山あつたはずなのに楽しかったこと、良いことが溢れ過ぎて、想い出に残っています。忘却は、人間の才能でしょうか？ (小松)

▼本当に今年は国の内外を問わず様々な出来事がありました。「激動の時代」の中で息付く暇も無い時世ですが、新年度が皆様にとって良い年でありますように。(吉田)

▼字数を数えたり、写真を選んだり、見出しを考えたり、作業に大部分追われるのだけれど、文章の表現や、ポイントの置き方で、ヒューマンの性格や方向性が決まるものだと、つくづく思います。(山本)